

「愛と幸せのある 安心して暮らせるまち」の実現を を目指して



今月の特集では、3月町議会で可決された平成27年度当初予算について、その概要と主な事業をお知らせします。本年度は、安全で快適な生活環境づくりと、子育てなど住民が安心して暮らせる町の実現を重点施策と位置付け、後年度負担にも配慮し、確実な行政運営に心掛け、「愛と幸せのあるハッピーランド」の実現を目指します。

また、将来に向け、第6次幸田町総合計画や児童館建設基本構想などの策定や、各施設の長寿命化計画の策定を行い、「未来に向けた魅力あるまちへの計画づくり」をキーワードに予算編成をしました。

平成27年度 当初予算

● 一般会計

予算総額

137億9,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

● 特別会計

予算総額（7特別会計）

72億8,384万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

● 企業会計

収益的支出 7億2,861万円

資本的支出 7億1,188万円

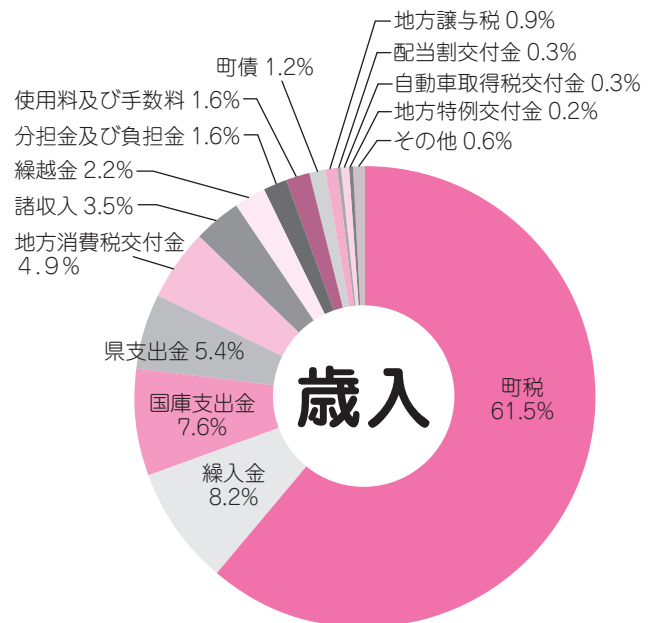
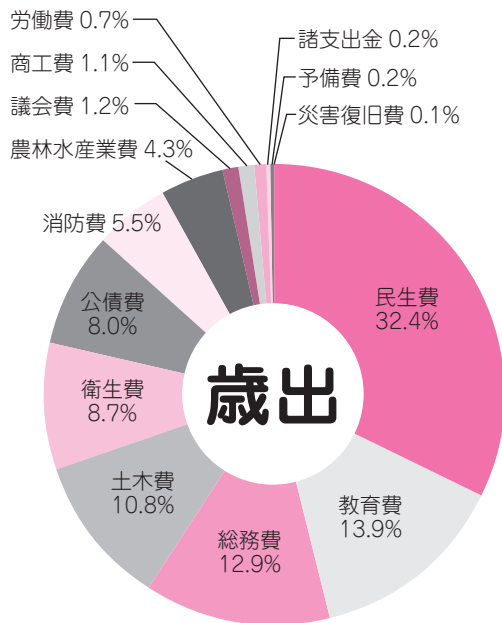
企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

(▲減)

会計区分	平成27年度予算	平成26年度予算	伸び率(%)
一般会計	137億9,000万円	131億2,000万円	5.1
特別会計			
土地取得特別会計	2,280万円	2,951万円	▲ 22.7
国民健康保険特別会計	36億9,076万円	31億5,816万円	16.9
後期高齢者医療特別会計	3億1,167万円	2億9,708万円	4.9
介護保険特別会計	17億4,474万円	17億 66万円	2.6
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	3億6,972万円	3億2,255万円	14.6
農業集落排水事業特別会計	3億8,859万円	3億8,523万円	0.9
下水道事業特別会計	7億5,556万円	7億7,943万円	▲ 3.1
水道事業会計			
収益的支出	7億2,861万円	7億9,704万円	▲ 8.6
資本的支出	7億1,188万円	7億1,602万円	▲ 0.6
合計	225億1,433万円	213億 568万円	5.7

平成27年度幸田町一般会計予算歳入歳出款別構成比（％）

歳入歳出予算総額 137億 9,000 万円



歳 出

費目別に見ると、民生費が全体の32.4%を占め、次いで教育費13.9%、総務費12.9%、となっています。総務費では社会保障・税番号制度システム対応や電算システム改修などにより2億円増（12.6%増）、消防費では、消防救急無線デジタル化整備などにより2億円増（35.6%増）、教育費ではハピネス・ヒル・幸田修繕、中学校への太陽光発電設置などにより3億4千万円増（21.4%増）などが前年度から増加した主な理由で、全体では6億7千万円増の予算額となりました。

歳 入

最も大きな割合を占めている町税は、前年度比1.3%増の84億7千万円（構成比61.5%）と小幅な回復を見込みましたが、リーマンショック前と比較して約9億円減少しています。そのため、財源不足を埋めるため基金から11億円の取り崩し（繰入金）を予定しています。また、借金である町債は1億7千万円に抑え、平成26年度末現在で52億円ある町債残高を、43億に減少させ、財政の健全性の確保に努めました。

主な区分の内容

歳入…1年間のすべての収入

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源

【繰入金】積立してある基金（貯金）の取崩し又は、特別会計から繰入れるお金

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から支出されるお金

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

【地方譲与税】国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税

歳出…1年間のすべての支出

【民生費】お年寄りや子ども、障がい者など福祉や医療などに使われるお金（児童手当等）

【総務費】町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金

【教育費】小・中学校、ハピネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

【公債費】町債を返済するお金

主な事業

●新は新規事業

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

●防災・減災

- 新 J R アンダー交差部道路冠水状況情報カメラ設置
- 新 南部中学校へ防災備蓄倉庫設置
- 民間木造住宅無料耐震診断
- 耐震改修・耐震リフォーム補助
- 耐震シェルター設置工事費補助
- 自主防災会育成

●交通・防犯

- 新 道路電光掲示板設置
- 新 防犯灯調査
- 新 LED 防犯灯リース



▲町内すべての防犯灯をLED化

- 防犯カメラ設置
- コミュニティバス運行

●消防・救急

- 電動アシスト自転車購入支援
- 地域安全ステーション運営
- 新 消防救急無線デジタル化整備



▲デジタル化により大規模災害時の連携や、情報の安全性を高めます。

●道路・橋梁

- 新 非常用発電機用屋外タンク設置
- 消防団第2分団第1部詰所用地取得
- 防火水槽、消火栓設置
- 舗装補修（長嶺1号線他）
- 道路整備（野場横落線他）
- 橋梁修繕（倉添橋）
- 生活道路の舗装、側溝整備

●都市基盤

- 幸田駅前土地区画整理事業推進
- 土地区画整理事業（石堀・六栗・里）推進

●下水道（公共下水・集落排水）

- 北部処理分区、土地区画整理地内の整備
- 農業集落排水事業13地区維持管理

●上水道

- 永野ポンプ場更新工事
- ライフライン機能強化

②環境と調和する まちづくり

自然との共生を図り、緑豊かで環境にやさしいまちづくりを推進します。

●環境

- 新 次世代自動車購入支援
- 新 墓地公園構想策定
- 太陽光発電、燃料電池、太陽熱利用システム設置支援
- 生ごみ処理容器等設置支援
- 自然観察会・環境学習会
- クリーンパトロール事業
- 資源回収事業支援

●都市公園

- 新 永野公園トイレ改修設計
- あいち森と緑づくり事業
- 公園遊具・施設整備補修

③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興及び新産業の創生に努めます。

●農村・農林業

- 新 いちご集荷ライン更新補助
- 新 就農支援研修
- 新 鳥獣被害防止総合対策
- 農林業活性化支援
- 林道整備
- 里山林等整備
- こつた産業まつり

●商工・観光・勤労者

- 商工観光業活性化支援
- 振興資金等信用保証料補助
- 幸田しだれ桜まつり・幸田彦左まつり等助成

●企業立地

- 新 ものづくり研究センター開設
- 工業団地開発調査
- 企業立地マスタープラン推進
- プレスステージレクチャーズ（ものづくり日本講演会）

④健康・福祉のまちづくり

町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいを持って暮らしている地域社会を形成していきます。

●健康づくり

- 健康こつた21計画の推進
- 高齢者肺炎球菌ワクチン任意接種・風しん対策助成・各種予防接種
- 人間ドック・住民健診
- 各種がん検診（無料クーポン事業）
- 妊婦健康診査（14回公費負担）
- 乳幼児健康診査・相談
- こんにちは赤ちゃん訪問
- 未熟児支援

●高齢者、障がい者福祉・介護保険

- 新 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助
- 臨時福祉給付金
- 障がい者相談支援
- 在宅介護手当支給
- 障がい者自立支援の推進
- 介護予防対策の推進
- 地域活動支援センター運営

●児童福祉・保育園

- ・新児童館建設基本構想策定



▲児童館の全小学校区設置にむけた構想の作成

- ・新幸田保育園大規模改修基本構想・実施設計
- ・新幸田小第3児童クラブの新設
- ・子育て世帯臨時特例給付金



▲利用希望の増加にこたえるため、児童クラブを追加

- ・保育園英語あそびモデル事業拡充
- ・支援センター運営
- ・子ども医療費無料化（中学校卒業まで）
- ・児童クラブ運営
- ・私立幼稚園就園奨励費・入園料補助

⑤地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。

●社会教育

- ・新島原藩主深溝松平家墓所保存整備事業

- ・新歴史と文化の友好交流
- ・新町民会館等改修計画策定
- ・生涯学習講座
- ・こつた夏まつり、こつた凧揚げまつり
- ・少年少女発明クラブ補助

●スポーツ

- ・スポーツ教室
- ・町民スポーツ大会
- ・町民大運動会
- ・新春駅伝・ファミリージョギング大会

●学校教育

- ・新幸田小学校校舎増築実施設計



▲全国でも数少ない人口増加が見込まれる町

- ・新幸田中学校・南部中学校への太陽光発電設備設置
- ・少人数、通級指導対応教育の推進
- ・荻谷小学校体育館吊り天井耐震化
- ・坂崎小学校・深溝小学校トイレ改修
- ・中学校図書館空調設備設置
- ・学級補助嘱託教員、理科支援員配置
- ・日本語指導教員、母国語対応支援員配置
- ・外国人英語講師増員
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実

●国際化

- ・中学生海外派遣
- ・国際交流事業補助
- ・ポルトガル語通訳配置

●コミュニティ

- ・地区集会施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

⑥健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたち健全性を重視した、バランスのとれた行財政運営の確立に努めます。

●広報・広聴

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・町民会館、図書館、町民プール
- ・高齢者生きがいセンター、高齢者

●行財政運営

- ・ふれあいプラザ
- ・道の駅「筆柿の里・幸田」
- ・第6次幸田町総合計画策定
- ・新公共施設等総合管理計画策定
- ・電算システム改修
- ・新電力からの電力調達（電気料金削減）
- ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・公債費の抑制
- ・借地解消（用地購入）

本町の行財政運営は、財源不足から貯金にあたる財政調整基金の取り崩しに頼る予算編成が継続しています。また、貴重な収入の一つである法人町民税につきましては、地方法人税の創設による一部国税化の影響もあり、税収の大幅な増加は見込めない状況です。このような状況ではありますが、限られた財源の選択と集中を図り、バランスの取れた行政サービスを目指し、長期的展望に立った施策を推進してまいります。

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆様との対話の中からのいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、「開かれたわかりやすい行政」を展開していきます。

問合せ 財政課財政G（内線353）